

能登半島地震 でのDWAT活動 から学ぶこと

2024年の能登半島地震では、多くの医療福祉関係者が様々な形で支援を行い、富山DWAT（Disaster Welfare Assistance Team）も初めて被災地で活動しました。現在も復興に向けて道半ばの中で、私達の災害に対する意識も高まってきています。本研修では、能登半島地震でのDWAT活動から、ソーシャルワーカーとしての支援活動への取組み姿勢と知識を学び、平時から備えておくべきこと、災害時に自分にできることについて、考えることを目的に実施します。

日時

2/1(土)

14:00-16:30

(受付13:30～)

場所：富山市まちなか総合ケアセンター 1階 地域連携室

* お車でお越しの方は、隣接の立体駐車場をご利用ください（有料）

対象：富山県医療ソーシャルワーカー協会会員、関係機関職員

参加費：会員 500円、非会員 1,000円（現地で集金します）

【プログラム】

14:00～14:05 開会あいさつ

14:05～15:55 講義

「ソーシャルワーカーとして災害にどう向き合うか」

講師：京都DWAT 河村 史子 氏

「共に学ぶ、共に守る能登半島での支援活動と未来への準備」

講師：京都DWAT 桑田 大輔 氏

15:55～16:25 質疑応答を交えたトークセッション

16:25～16:30 閉会あいさつ

先着
50名



講師

かわむら

ふみこ

河村 史子

社会福祉法人壬生老人ホーム
居宅介護支援事業所 介護支援専門員
京都社会福祉士会 災害支援担当

1993年社会福祉法人壬生老人ホームに入職。1998年介護福祉士、1999年介護支援専門員、2011年社会福祉士資格取得。2015年京都DWAT養成研修受講、能登半島地震では、市内避難所での支援（福祉チーム）のとりまとめ、応急期を中心に、避難所に関わる福祉ニーズに対応。



講師

くめだ

だいすけ

桑田 大輔

有限会社エーイー リ・ケア左京
居宅介護支援事業所
管理者・主任介護支援専門員

京都市山科区で生まれ育ち、現在は滋賀県大津市在住。病院の医療事務や介護施設で働いた後、武田病院グループに入職。グループ内で特別養護老人ホームの生活相談員や居宅介護支援事業所で勤め、居宅介護支援事業所の管理者を歴任。その後、2023年10月に現法人の居宅開設を機に転職し現在に至る。

主催 富山県医療ソーシャルワーカー協会

〒931-8517 富山市下飯野36番地

富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 入所療育課 堀田

TEL：076-438-2233 E-Mail：jimukyoku@toyama-msw.com

お申込み
はこちら



【申込締切】1月27日(月)

* ホームページからもアクセスできます。

富山県医療ソーシャルワーカー協会